

固定資産税事務基礎研修(家屋評価(木造中心)) オンライン

- ◇ねらい 固定資産税事務（家屋評価）の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特徴 講義及び演習により、実務的な視点から必要とされる固定資産税事務（家屋評価）に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対象者 固定資産税（家屋評価）事務担当職員（研修内容は、固定資産税（家屋評価）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年8月6日（木）・8月7日（金）
- ◇会場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科目	時間	目標・内容・期待効果
固定資産（家屋）の評価 （木造家屋の評価等）	11.5	固定資産税における家屋評価に関する知識として、家屋の認定、固定資産（家屋）評価基準の内容及び木造家屋の基本的な評価方法等について、講義・課題検討により理解・習得する。
合計	11.5	

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目			講義・演習		講義・演習	閉講

- ◇携行品 筆記用具、電卓
- ◇講師 (公財) 東京税務協会 専門講師 堀川 稔氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆資料が非常に充実しており、今後判断に迷う案件が発生した場合にも参考に出来ると思うので、大変ありがたく感じております。
- ◆講義の時間配分がしっかりしており、万遍なく学ぶことができよかったです
- ◆表やイラスト、写真が資料の中にあっただけで説明を聞いて理解するだけでなく、具体的にどういった事例であるか理解することができた。